

平成20年度 第8回見沼区区民会議 議事録

日 時	平成20年12月25日（木） 18:30～20:30
会 場	見沼区役所 大会議室
出席者 (敬称略)	<p><委員> 伊藤邦介(公募委員)、大川野英子(見沼区民生委員・児童委員協議会)、小野達二(NPO法人 自然観察さいたまフレンド)、合谷憲治(青少年育成さいたま市民会議 見沼区連絡会)、小島章次(さいたま市大宮文化協会)、白瀧康次(NPO法人地域人ネットワーク)、桜井定夫(大宮医師会)、田口和子(さいたま市保健愛育会見沼区支部)、中澤恒雄(公募委員)、長沼和子(公募委員)、中村とさ子(公募委員)、西尾真治(公募委員)、野崎初太郎(見沼区自治会連合会)、高橋年雄(七里地区社会福祉協議会)、宮本英典(さいたま市PTA協議会 見沼区連合会)、</p> <p><見沼区> 浅見孝雄(区長)、安藤徳雄(副区長)、櫻沢健司(区民生活部長)</p> <p><事務局> 中村友一(区民生活部コミュニティ課長)、金井利夫・長谷川彰・鈴木喜菜(区民生活部コミュニティ課)</p> <p><コンサルタント> 三浦匡史・安部邦昭(NPO法人都市づくりNPOさいたま)</p> <p><傍聴者> 0名</p>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回議事録の確認 (2) 部会報告確認事項 3. その他 4. 次回開催日程 5. 閉会
資 料	<p>資料1. 平成20年度 第7回見沼区区民会議 議事録案</p> <p>資料2. 自然環境部会活動の記録とまとめ</p> <p>資料3. 生活安全部会のまとめと生活安全部会の活動から浮かび上がった第3期区民会議のメッセージ</p> <p>資料4. ネットワーク部会報告</p> <p>資料5. 2年間の活動の評価 (ネットワーク部会)</p> <p>資料6. 第2回拡大区民会議報告書 (案)</p> <p>資料7. 広報委員会報告</p> <p>資料8. 平成20年度区民会議活動報告書 第4章～第5章粗素案</p> <p>資料9. エコライフDAYチェックシート</p>

以降は、委員の発言等に基づき、会議内容の骨子をまとめたものです。従って、会議の趣旨や発言の関連性に照らし、同様の意見の集約、発言順の編集等を行っています。

■議事

(1) 前回議事録の確認

特に変更無し。

(2) 部会報告確認事項

[自然環境部会]

<部長より報告>

(エコライフDAY参加の呼びかけ)

・埼玉県環境部温暖化対策室において、エコライフDAYのチェックシートを配付している。各委員におかれては、ぜひ参加されたい。また、所属団体でも是非参加を呼びかけていただきたい。

(自然環境部会の報告)

※配付資料「自然環境部会活動の記録とまとめ」を参照

- ・活動の柱としては、てくてく見沼の開催、見沼区八景と見沼区の木・花・鳥・蝶の選定、拡大区民会議でのワークショップ、深作川&アーバンみらい多目的遊水地周辺ゴミチェックなどを行った。
- ・てくてく見沼は、第3期区民会議では第4・5回を開催した。ただ歩くのではなく、指導員のガイドで豊かな緑地の観察と貴重な史跡の見学がなされた。
- ・第4回では、一般の地図にはない「一等三角補点」や大和田陣屋跡などの名所を巡った。
- ・第5回では、ハイキングコースや観光ガイドにない見沼区の緑地や水辺を見て回った。しかし、集合場所が分かりにくかったことと、イベントが重なったことなどから、参加者が少なかった。
- ・見沼区八景及び見沼区の木・花・鳥・蝶を、今期で選定した。区民が身近な自然環境に興味を持つきっかけとなった。また、先駆的な取り組みとして注目され、さいたま市のみどりの基本計画でも、各区に選定を奨励する記述が付記された。
- ・ワークショップは、自然環境に関心のある方や活動をしている方から様々な報告や意見を伺う貴重な機会となった。一方で、時間的な制約から十分な意見交換ができなかったことが残念である。
- ・ゴミ調査では、部会メンバーで深作川及びアーバンみらい多目的遊水地に沿って散策し、見える範囲のゴミの種類と数をチェックした。当地では、絶滅危惧種のタコノアシやオヘビイチゴなどの貴重な植物も見つかった一方で、相当量のゴミの不法投棄も確認された。見沼区八景にも選定されているこの地を未来に残すためにも、私たちにできること、行政にお願いすることなどを、今後の検討課題とする。

・最後にまとめとして、今後の課題を自然環境部会からの伝言としてまとめている。まとめは、区民の皆さまへ、次期区民会議へ、行政への3つに分け、活動に基づく伝言をまとめている。

【生活安全部会】

<部長より報告>

- ・12/12に部会を開き、フリートークに基づきまとめを作成した。
- ・当初の計画としては、区民相互のコミュニケーションの推進、安心・安全なまちづくりの推進を掲げていたが、マナー啓発のための様々な取り組みに終始した印象がある。防災、防犯のための取り組みは、問題提起はあったが、具体的な行動にまでは至らなかった。
- ・マナー啓発については、標語の募集とマナー啓発のティッシュ配りを実施した。
- ・標語募集は、ふれあいフェアでの表彰式と看板の設置など、目に見えるカタチにしたことがよかった。今回は一般からの募集は34点のみであったが、自治会にも協力を求めるなど、活動を広げる余地があったと思われる。
- ・ティッシュ配付は、地域、地区の人々の協力姿勢を引き出す仕掛けとして有効に機能した。一方でキャッチコピーをもう少し具体化し、他のイベント、例えばゴミゼロの活動と連携するなどの方法も考えられる。
- ・いずれの活動も、来期以降も継続する意義はあると思われる。
- ・全体の振り返りとしては、そもそも区民会議とはどのような組織でどんな役割があるか、明確ではなかったとの意見があった。参加委員の所属する団体につないだり、委員相互のコミュニケーションを図ることで、区民会議ならではの取り組みを展開できると思う。

【ネットワーク部会】

<部長より報告>

※配付資料「ネットワーク部会報告」を参照

(ニューイヤークンサートについて)

- ・12/15が締め切りであったが、ハガキ500枚、1,120名の応募があった。定員600名に対し、2倍近い応募があった。
- ・会場は定員が924名であり、招待者やスタッフの数等を考慮し、12/8到着分までの862名を当選としたい。
- ・年明けに当落の結果の通知を発送する予定。

(質疑)

会 長：自治会連合会の会長などを招待できないか？

事務局：自治会連合会役員・地区社会福祉協議会会長・区民会議委員を選出していただいた団体には、招待状を送付する予定。

委 員：900脚の椅子を並べる大変な作業である。予め、会場設営のスケジュールを立てておく必要がある。

部 長：当日ご参加いただける委員さんは、概ね10:00からご参加いただけると伺っている。

委 員：当選者を862名としているが、当日は来られない方もいると考えられる。これを含めて、もう少し当選者数を増やすことはできないか？

事務局：消防法の規定は定員924名であり、これを超えることはできない。参加者は、1割くらいが当日欠席と見込んでいる。会場に入れる人数の総数は、参加者の他、招待者やスタッフも含めた人数となるため、予定数で924名を超えることは難しい。

委 員：12/9までの到着分だと、何名か？

事務局：892名である。

委員：12/9までを当選として、もう少し人数を増やすことはできないか？

会長：事務局で検討して欲しい。

（2年間の活動の評価）

※配付資料「2年間の活動の評価（ネットワーク部会）」を参照

- ・全体を通じた評価と、事業別の評価に分け、事業の概要と評価できる点、反省・改善すべき点に分けている。
- ・全体としては、恒例となった行事について、前期からの取り組みから一歩前進させることができた。また、拡大区民会議の場で区内の様々な団体と交流するきっかけを作ることができた。一方で、イベントの開催に追われ、その目標や位置づけを十分に確認しながら進めることができなかった。また、コミュニティ会議や自治会などと、コミュニケーションを取ることができなかった。
- ・事業としては、区民コンサート、拡大区民会議、見沼区ふれあいフェア、区民会議情報交換会などを行った。
- ・ふれあいフェアは2年目のみネットワーク部会が主に担当して実施したが、区民会議としてもっとこの機会を活かせると考えている。

（拡大区民会議報告書（案）について）

※配付資料「第2回拡大区民会議報告書（案）」を参照

- ・前回の全体会でご意見を頂いたとおり、最後のページを「ワークショップにおける主な発言のとりまとめ」と表記を変更した。
- ・これでご確認いただければ、次回の全体会で報告書として提出したい。

【広報委員会】

＜委員長より報告＞

※配付資料「広報委員会報告」を参照

（区民会議だより第15号について）

- ・12/10に委員会を開催し、第3期活動の成果と評価と、区民会議だより第15号の計画について検討した。
- ・1月の全体会で全員の集合写真を掲載したい。については、全体会の開催通知にも、その旨を記載して欲しい。
- ・区民に語りかけるような形で、各部会の報告を各部長にお願いしたい。締め切りは、1/15とし、原稿をお願いしたい。

（広報委員会の活動と評価について）

- ・区民会議だよりを定期的に発行することで、区民会議活動のペースメーカーの役割を果たすことができた。また、新機軸として「ボランティアグループ紹介」を行い、好評を得た。今後も、何らかの形で継続することを望む。
- ・区民会議の活動を色々な形で区民の目に触れるように努力が必要である。
- ・ホームページは、継続して内容を更新している。しかし、一方でなかなかアクセス数が増えないのが課題である。
- ・新しい取り組みとして、「ネット拡大区民会議」を行ったが、反響は今ひとつであった。

(質疑)

委員：報告に使う写真は、てくてく見沼など、動きのある写真の方が望ましい。

(3) その他

○報告書のまとめ方について

<コンサルより説明>

※第4章～第5章粗素案

- ・全体の構成は、前回の全体会でお諮りしたとおり。
- ・本日、各部会から報告された内容は、第3章に含まれる。
- ・主として部会を中心として活動を行ってきたが、全体として共通の成果や課題というものも出てきた。これを、第4章で「全体の活動の成果とまとめ」というかたちでまとめたい。
- ・第3章の報告、第4章でまとめた課題を受ける形で、第5章に区民会議からのメッセージという形で提言や継続課題としてまとめたい。
- ・本日の報告や議論を元に、次回の全体会で報告書素案という形でまとめ、改めてお諮りしたい。

(質疑)

委員：委員相互のコミュニケーションの向上を課題として提起したい。出席率が低いと、部会や委員会が成立しないことも考えられる。出席率が高くなるような人選への配慮など、出席可能な方の参加を求めたい。

委員：報告書末尾の「委員からの一言コメント」は、どのくらいのボリュームでいつまでに書けばよいか？

コンサル：締め切りは2/12、300字以内で執筆をお願いしたい。原稿は、事務局までご送付いただきたい。

■次回会議日程

○役員会：1月21日（水）18:30～に決定した。

○全体会：1月29日（木）18:30～に決定した。